

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課		■担当係	都市計画係
■評価事業名称	あじさい都市きたかみ都市拠点形成事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	070400 - 023	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	05 総合的・計画的な土地利用		
	■施策	01 質的向上を目指した土地利用の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	都市再生特別措置法			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	「あじさい都市きたかみ」形成のため、「都市及び居住機能の立地適正化に関わる基本方針」、「都市機能誘導区域、誘導施設の設定と都市機能誘導に関する施策」、「都市居住区域の設定と居住誘導に関する施策」などの計画を立案するもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	あじさい都市きたかみ都市拠点形成事業	市民	・立地適正化計画(案)の公表 ・届出制度の開始	平成28年度末に国土交通省との協議の結果、内容を再度検討する必要が出たことから、庁内、専門家、国土交通省等と協議を重ね、平成30年3月30日、計画の公表に至った。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費			9,244	147	
人件費			7,283	5,647	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			16,527	5,794	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	立地適正化計画の策定			素案の策定	計画公表	

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

平成30年3月30日に計画公表

問題点・課題等

都市再生整備計画との整合性を整理しながら、誘導施設や区域設定について必要に応じて計画変更が生じる。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

「あじさい都市きたかみ」形成に向けた都市計画分野に係る施策として、継続して取り組む必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了